

ブランド・コンセプト

*QUALITY (MADE IN FRANCE)

ここ、パリにおいても若者を中心に支持されている即時供給・外国生産の低価格カジュアルブランドは勿論、老舗と言われる高級ブランドまでもがその多くの商品を、中国をはじめとするアジアや西側以外の他ヨーロッパ等で生産するようになりました。そんな中、全商品をフランス国内の工場で作ることにこだわり、人々が忘れてきているフランス独自の縫製技術と繊細なタッチで顧客の信頼と支持を集めています。また、そのクオリティ感を保ちつつも、ちょっとした遊び心が小粋な“パリジェンヌ・スタイル”をどこまでも追及する軽快さがかえって新鮮な魅力となっています。

*COLOR (VIVID BUT POLITE)

「ラロック」のお店、もしくはブースの前で目か足が止まったという方のほとんどが、そのなんとも言えない生き生きとした色使いに思わず心を奪われたのではないのでしょうか？こっくりとした“マロン・ブラウン”や華やかな“フェューシャ・ピンク”、雲ひとつない青空を思わせる“ブルー・ラグーン”、何気ないのにその存在感が際立つ“エクリュ”・・・それらがお互いの関係をこわさないようにひとつのハーモニーを奏でます。是非とも「ラロック」で、パリジェンヌでしか見抜けないうる妙な色の魔法を存分に楽しんで下さい。

*CUTTING (SIMPLE PATTERN)

「女性の体をよりコンパクトにすっきりと見せるか」・・・どのアイテムにもこの基本パターンが採用されています。何故か？オーレリー自身、四十歳台に入った今でもいかに“マダム”というスタイルには興味がありません。気になる部分を覆い隠すような提案はしないということ。女性の体は常に変化しているものです。けれども、いつどんな時にも、どこか箇所、身体にフィットするポイントを意識することが大切と考えています。いつまでも“マドモアゼル”のスタイルを忘れたくないという、快活でキュートな全女性にと願っています。「良質素材でライトな着心地」、「エレガントなお手入れが簡単」。そんな理想的なお洋服がここ「ラロック」にあります！

*MATERIALS (DETAILS OF ACCESSORIES)

大人の女性のお洋服にこんな“JOLI”な細工を施すブランドは、他にありません。天然貝をわざわざ星の形にしたボタン、丁寧にグラデーションをかけた花の刺繍、でしゃばらるように、その素材感と配色に気を配った小さなビーズやラインストーン・・・私たちの心を、キュンとさせる「ツボ」をオーレリーは常に知っているのです。決して安っぽく見えないのは、土台である生地や縫製にしっかりこだわっているから。知的な女性の日常を、よりセクシーに、そしてもっと欲張りにさせてくれるお洋服。「ラロック」のお洋服が少し足されるだけで、日本の女性のワードローブに“シックで可憐な華やかさ”が加わることでしょう。

直営店のご紹介

サン・ジェルマン・ド・プレ店

マドレーヌ店

2002, MADELEINE / OPÉRA
27, rue Godot de Mauroy
75009 Paris



2003, SAINT GERMAIN
DES PRÉS
2, rue du Sabot
75006 Paris

THROUGH MY EYES

すべての商品が“MADE IN FRANCE”このエレガントな響きに込められた思いとは・・・

作品の醸し出す可愛らしさとはうらはらに、その中にはデザイナー、オーレリーのパリジェンヌとしてのこだわりが凝縮されています。

彼女のアトリエには、毎日のように一本・二本と反物を抱えた縫製工場のおじさんが訪れています。今まで使用してきたボタンやビーズなど、お気に入りの小物たちが大切に飾られています。

決して良いとは言えない現在のフランスアパレル産業の中で、自国の繊細で独創的な職人気質を守りながら、彼女ならではのセンスが最大限に表現された楽しく、そして信頼のおけるブランド、ラロック。

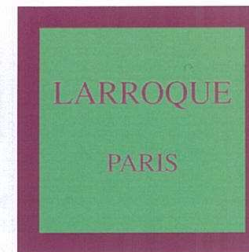
ある夜、どうしても着てみたたくてしかたないお洋服を夢にみました。いつものお目覚め時には残像が消えて・・・悲しいかな、私は、いちパイパーであり、デザイナーにはなりえないのです。ところがある日、あの夜、夢にみたままのお洋服と出会ったのです！

それが、私とオーレリーとの初めての出会い。型紙・色使い・素材感・ディテール、全てにおいて私の好みとリンクするオーレリーの発想。心を込めて作られた丁寧な作品ばかり。

オーレリーのお洋服を通して、シャンゼリゼの老舗ブランドにはない、ほんとのパリの息づかいを感じて欲しいと思います。いつ終わるとも知らない楽しいおしゃべりを！石畳をコツコツとならす、すました靴音を！一本まるまらバゲットをほお張る、おいしいような口元を！

現在パリ在住、「ラロック」にて翻訳・通訳・日本クライアント向けプレゼンテーション担当

元、et couleur (エ・クルール) 運営・薦田 由花 (こもだ ゆか)



SUMMER 07

IFF Tokyo Big Sight

July 19-21, 2006

Creator's Village Marble 05

WHO'S NEXT

Porte de Versailles Paris

September 1-4, 2006

Fame Hall 1 J28

www.larroque.net

Atelier - Show-Room :

163, rue du Faubourg Saint-Honoré - 75008 Paris
Tél. : +33 1 42 66 65 82 - Fax : +33 1 42 66 65 86
aurelie@larroque.net